



2月10日行われた図上型防災訓練。課題は残ったが成果は大きかった

質問 QUESTION

図上型防災訓練の成果と課題は？

回答 ANSWER

情報の共有など課題は残ったが成果大でした「町長」

質問

大規模地震に対応した図上型防災訓練が県・

大垣消防組合などの合同で2月10日に実施されましたが、その成果と残された課題は何でしたか。

また、大規模地震の発生時の避難場所は何カ所ありますか。「地震ハザードマップ」を配布していますか。避難場所の耐震検査はどうなっていますか。

一般質問



西松 巖
にしまつ いわお

回答 「町長」 図上型防災訓練は初めての試みでした。

初動体制の確立、救援対策、避難対策、広域応援、自衛隊災害要請など、成果はありました。課題は各部所間の情報の共有、分析、集約など多く残りましたので、課題を整理し、訓練を行います。徐々にスキルアップしていくことが重要だと思っています。

「総務部長」 避難場所は町内に56カ所指定し、「地震ハザードマップ」を配布しています。

今後は巨大地震用も研究します。避難場所の耐震検査については小中学校や体育館などは完了していますが、神社、集会所などはこれから調査し、避難場所の支障があれば改善していきます。

質問 QUESTION

高齢者福祉を充実させよ

回答 ANSWER

ふれあいサロンで地域のコミュニケーション強化を「町長」

質問

今後さらに進む高齢化社会への対応がますます重要になっています。町内の高齢者は人口の何%

であり、今後はどう推移しますか。

あすわ苑は町民の希望に十分に応えられる施設となつていきますか。また、あすわ苑の増築についてどう考えていますか。

回答 「民生部長」 今年2月1日現在の高齢化率は21・2%で、10年後は約27・7%と予測しています。

あすわ苑は、多床室であり、特別養護老人ホーム・短期入所・デイサービスの3事業を有している施設としては比較的低い料金設定で、その役割は果たしていると考えています。

「町長」あすわ苑の増床については、重要な検討課題であると思います。今後2030年には一人暮らし数約37・7%と推計値が出ており、一人暮らし社会が到来します。ふれあいサロン等を通じて行政と町民とのコミュニケーションを図っていききたいと思います。